

## 生産マイスター検定試験3級 問題例

【問題】 つぎの語句を説明するものとして、もっとも適切なものを選びなさい。

選択嵌合

[選択肢]

- ア. 不良が出るため、基準より常時余分に生産する場合。
- イ. 組付け精度が出ないため、部品を選んで組付けをする場合。
- ウ. 標準速度で不良が出るので、速度を下げて運転する場合。
- エ. 1回の加工では製造規格に入らず、常時2回加工する場合。

【問題】 原因を深掘りするための有効な手法である「なぜなぜ分析」の説明として、不適切なものを選びなさい。

[選択肢]

- ア. 不自然な「なぜ」には注意すること。
- イ. 人間の心理面への原因追究も心がけること。
- ウ. 基準としているものや事柄にも「なぜ」で追究すること。
- エ. 現場・現物でしっかり検証すること。

【問題】 つぎのような条件の職場の人員能力として、正しいものを選びなさい。

技能レベル1の社員	技能レベル0.7の社員	出勤率
90人	20人	95%

[選択肢]

- ア. 52.3
- イ. 78.9
- ウ. 98.8
- エ. 104.5

**【問題】 つぎのケースを読んで、各設問に答えなさい。**

医療機器メーカー、アケボノ機器株式会社の製造工場に勤務する川本正夫は、入社して8年目になる。

現在同社は、ライン生産方式にて複数の医療機器を生産している。このうち川本は新製品「手軽に測れる血圧計“ピコ”」の組立現場にいる3名のリーダーのなかの一人である。

“ピコ”の売上は販売開始から予定通り推移しているが、生産量は予定数を下回っており、このまま売上が増加すると製品不足になりかねない状況にある。また3%程度の不良品も発生している。

それを問題視した生産管理課長の村上が、川本を含めた3名のリーダーに「生産性向上と不良品撲滅」の改善提案を命じた。1週間後、他の2名からは複数の改善提案が提出されたが川本は提案できなかった。そこで川本は村上から、チーム内で小集団活動を行って、2週間以内に最低でも1件は改善提案を提出するように指示された。

リーダーとして自チームの名誉挽回を強く感じた川本は、早速その日の夕方チームのメンバーを緊急に召集してミーティングを行った。

チームのメンバーは川本も含め全員で10名だったが、所用で2名が欠席であったためミーティングは参加者8名で実施された。

冒頭、川本は「“ピコ”の生産量が予定より悪く、売上次第では製品の不足もありえます。また一部不良品も発生しています。生産性向上と、不良品ゼロが急務です。是非、皆さんの意見やアイデアを聞かせてください」と話した。

ミーティングが始まって数分がたったが、だれからも発言はなかった。しびれを切らした川本は2名を指名してみたが、いずれも「特にありません」との答えだった。重苦しい雰囲気になってしまったなか、2年目の下村がようやく口を開いた。

下村 「まだ2年目で経験不足の私ですが、意見を述べてもよろしいですか？」

川本 「このミーティングは小集団活動の一環で、メンバー全員が活動の主役です。ぜひ、率直に意見を述べてください」

下村 「“ピコ”は新製品のせいか、作業手順・作業方法がまだ周知徹底されていない点があります。これが非効率のひとつの原因かと思います」

川本 「具体的にはどんなところですか？」

下村 「前工程グループとの連携作業、部品の受け取りで曖昧な手順があります」

川本 「なるほど。必要なら前工程の田上リーダーと相談してみますから、あとで詳しく教えてください」

飯田 「僕は、不良ゼロについてですが、まずは不良現象の明確化、定量化をしっかり行うべきかと思っています。偉そうにすみませんが大事かと」

川本 「なるほど。不良ゼロへの挑戦の進め方の第一歩は、現象の数値化だよな」

このあともメンバーから生産性向上や不良ゼロ実現に向けた意見や問題提起がもちあがり、川本はメンバーがやる気になってくれたと実感した。ひととおり意見を聞いた後、川本はみんなの意見の要点を簡単にまとめ合意を取り、次回までの分担を決め初回のミーティングを終えた。

その後の活動で、メンバーの意見をもとに、他のリーダーとの情報交換、現象の定量化、分析などを行ったところ、いくつかの改善点が見えてきた。

生産性の面では、工程の順序を一部入れ替え、不良ゼロ挑戦では、測定方法の標準化の充実と改めて5Sの定着活動を実施した。

その結果、生産性は2%上昇し、不良率は1%弱減少した。また小集団活動は業務に支障のない範囲で、テーマを変え定期的に行われた。

設問1. 川本の初回ミーティングの進め方で改善すべき点について、もっとも適切なものを選びなさい。

[選択肢]

- ア. メンバーが意識過剰にならないよう、ミーティングの案内は、テーマには触れずに日時・場所を連絡する。
- イ. 質問を投げかけても、だれからも意見が出ない場合は、素早く別の質問を投げかける。
- ウ. メンバーの能力や経験に応じて、ミーティングでの役割を上手に分担させ、参加意識を高める。
- エ. 限られた時間を有効に使うべく、途中の意見は書き出さず結論をしっかりと議事録に残す。

設問2. 今回の活動で一定の成果はあったが、今後、川本がとるべき行動として、不適切なものを選びなさい。

[選択肢]

- ア. さらなる生産性向上をめざして、メンバーと協力して考えられるムダの改善をはかる。
- イ. 不良ゼロにするため、リーダーである川本自身が「やればできる」という考え方を強く持ち挑戦し続けることが重要である。
- ウ. 仕事が予定より早く進んだ時期を利用し、身近なテーマを自主的に取り上げて小集団活動を継続する。
- エ. リーダーシップをより発揮するためには、話し方技法など各種技法を身につけることよりも、人一倍の熱意を持つことが何より重要である。